

狩野舟川の「大石寺境内図」
狩野派の絵師が描いた
江戸中期頃の大石寺鳥瞰図。

宗旨建立七五〇年

特別記念展「宗旨建立と七五〇年の法灯」

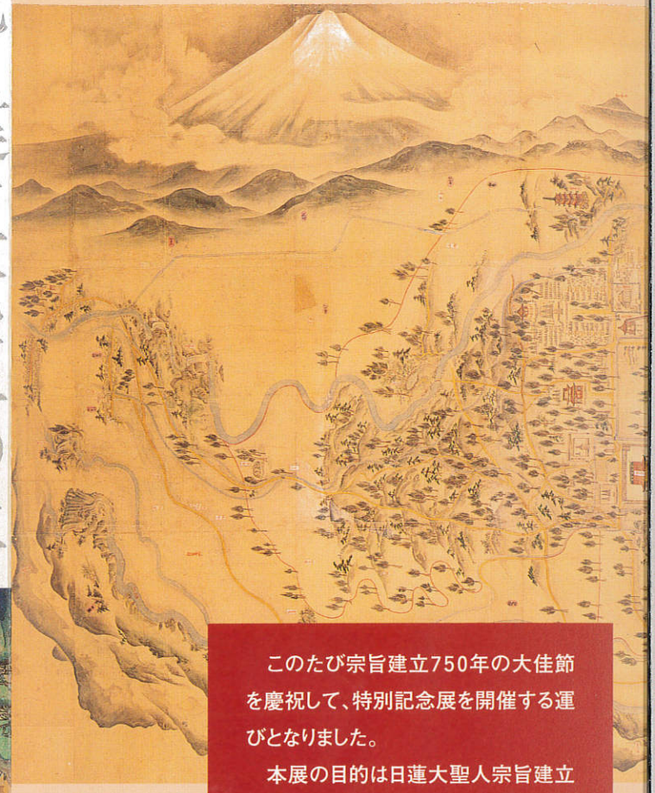


開催期間／平成14年4月29日（月）～12月2日（月）
開　場　日／慶祝登山日（10月7日（月）まで、11～12月以降は別表）
開場時間／午前8時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）
会　　場／日蓮正宗 総本山大石寺大講堂
入場無料（ただし、記念局発行の慶祝記念登山ワッペンをお見せください）
※会期中展示替えを行います。





宗旨建立750年慶祝記念局



このたび宗旨建立750年の大佳節を慶祝して、特別記念展を開催する運びとなりました。

本展の目的は日蓮大聖人宗旨建立の意義を拝しつつ、本宗750年の歴史をかえりみる中でこれからの折伏弘通の誓いを新たにすることにあります。

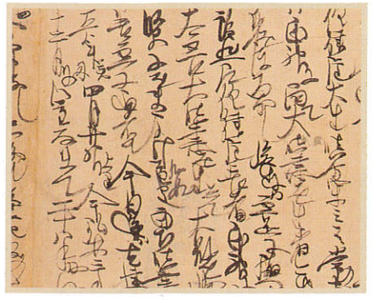
とりわけ本展では30万総登山にちなんで、昔の大石寺のたたずまいをしのび、大御本尊を求めてやまない法華講衆登山の歴史をいくつかの角度から明らかにしました。

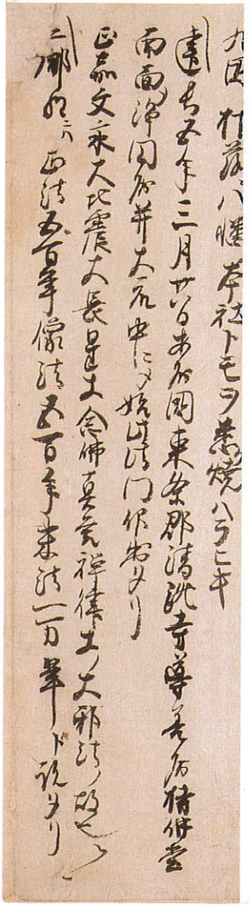
この特別記念展には、750年の法灯を護りぬいた総本山の貴重な宝物に加え、末寺からも宝物・史料類が寄せられております。

第一部

宗旨建立と七〇〇年記念法要

「諫暁八幡抄」
宗旨建立を建長5年4月28日と記した御書。





「安国論問答」
日興上人はこの書に宗旨建立を建長5年3月28日と記されている。



宗旨建立700年大法会の折、行われた「稚児行列」。

日蓮大聖人の宗旨建立をテーマに、関連御書等の史料や絵画などを披露し、さらに総本山所蔵の御真筆御書や御画像も展示いたします。また宗旨建立700年の大佳節となった昭和27年の大法会の特集として、写真や記念品で50年前をふりかえります。

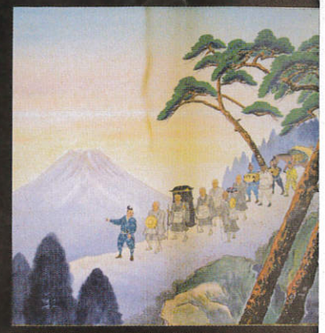


日日上人「常随給仕の図」
宮澤慈悲画

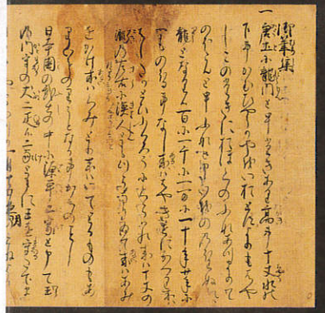
第二部

七五〇年の法灯

御開山日興上人が富士上野に大石寺を開創されて以来、歴代上人が宗開両祖の御精神を護り抜いてきた尊い御事蹟をしのびます。日興上人が身延を離山されてから江戸時代にいたるまで本宗の歴史を目でご覧ください。



「身延離山の図」大村寿道画



日興上人御筆跡「竜門御書写本」



第9世「日有上人御画像」



葛飾北斎「富嶽百景 大石寺の山中の不二」

第三部

大石寺の景観と求法の足あと



富士宮市内の草叢に今も残る「大石寺道」道標。

昔の人の目に大石寺の景観はどのように映ったでしょう。古い大石寺俯瞰図や境内図をできるだけ集めました。狩野舟川の「大石寺境内図」は価値の高い傑作。さらに道標を見れば、昔の法華講衆が法難を背負いつつ大石寺古道をたどった息遣いが、鼓動と共に迫ってくることでしょう。



「道中日記」
盛岡の信徒、阿部重吉が700キロの道のりを徒歩で登山した記録。



「宗義顕揚報恩大法会」昭和16年単立宗制が認可され本宗700年の伝統と信仰が守られた。

第四部

黎明を迎えた宗門近代史

目霑上人の国家諫暁で幕を開けた宗門近代史について立宗700年（昭和27年）を前にした終戦頃までを扱いました。時代が変わる中で護法の厳しさと、苦難を強いられた布教の姿をさぐります。この時代は写真が残され、総本山の堂宇のたたずまいや大法要の様子などもしのんでいただけます。

第五部

法礎建立から未来広布へ

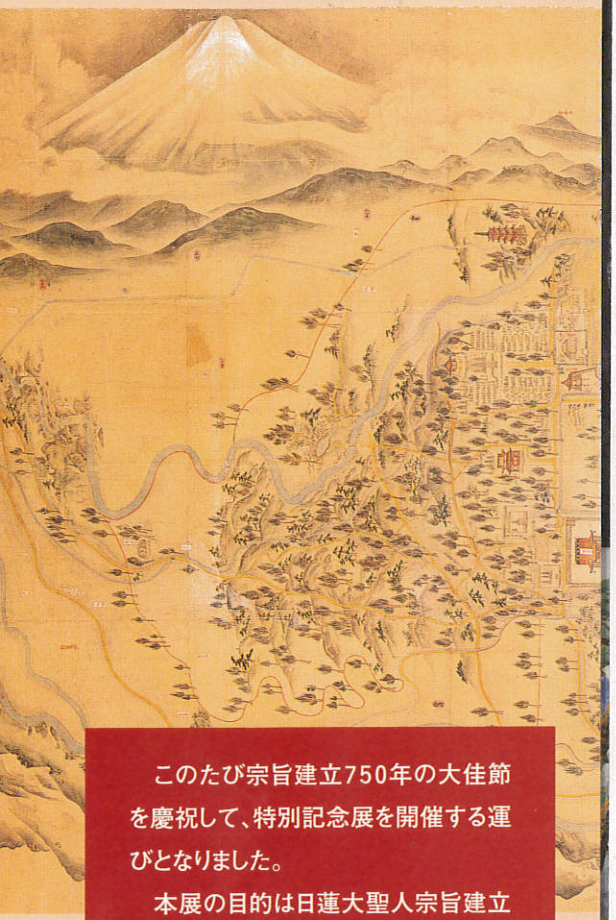


今年10月に落成する奉安堂の完成予想図

宗門は30万総登山を果たしつつ、本年秋には本宗僧俗の御供養による奉安堂の落慶法要を迎えます。

ここでは未来広布への礎となる奉安堂建設関連の展示を扱いました。平成2年より4年ごとの総登山、さらに7年間に及ぶ夏期講習会登山をふりかえりつつ未来広布への決意を新たにいたします。

《ビデオコーナー》
1F 総本山大石寺ガイド
2F スライドショー
「開宗700年大法会」
「夏期修養会」





狩野舟川の「大石寺境内図」
狩野派の絵師が描いた
江戸中期頃の大石寺鳥瞰図。

このたび宗旨建立750年の大佳節を慶祝して、特別記念展を開催する運びとなりました。

本展の目的は日蓮大聖人宗旨建立の意義を拝しつつ、本宗750年の歴史をかえりみる中でこれからの折伏弘通の誓いを新たにすることにあります。

とりわけ本展では30万総登山にちなんで、昔の大石寺のたたずまいをしのび、大御本尊を求めてやまない法華講衆登山の歴史をいくつかの角度から明らかにしました。

この特別記念展には、750年の法灯を護りぬいた総本山の貴重な宝物に加え、末寺からも宝物・史料類が寄せられております。